

## 日本のこれから

- 8月15日に考える -

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：今年の8月15日に考えたことは何ですか。

A：(林明夫：以下省略)3つあります。

第1に考えたことは、次のようなことです。開倫塾では、中学3年生の塾生が、8月11日から5日間の日程で1日1科目を朝9時から夕方6時まで学習する「お盆特訓」を受講しています。8月15日は、その最終日に当たりますので、塾生に一定の学習成果が身についたか考えました。特に、今年の夏は、北関東でも40度を超える日が出るほどの猛暑日が続きましたので、塾生と保護者、教職員の健康を毎日祈っていました。

Q：なぜお盆特訓を始めたのですか。

A：20数年前、当時の山田義塾はじめ多くの塾では、20万円近い参加費用の夏期合宿が行われていました。比較的安い費用負担で合宿と同じような学習成果が生まれる方法はないものかと考えていたところ、野田塾の野田邦彦先生からお盆特訓を教えて頂きました。以来20余年にわたり、1日1科目7000円(テキスト代込み)で行っております。

少しずつですが、お盆特訓も定着し、野田先生には感謝しております。

Q：第2に考えたことは何ですか。

A：2001年に設立が認められた開倫ユネスコ協会では、毎年8月15日の正午に「平和の鐘を鳴らそう」の運動をしています。身のまわりにある音の出るものを鳴らし、静かに平和を祈り、平和の大切さを考えています。

栃木県足利市内の寺院では、ユネスコの「平和の鐘を鳴らそう」の運動に共鳴して下さるところも多く、8月15日正午には足利市内のいくつかの寺院から平和を祈る鐘の音が聞こえてきます。

Q：林さんは、8月15日に放送されたNHKのテレビ番組に出演したそうですね。

A：「日本のこれから」、「考えてみませんか？憲法9条」という長時間の生放送番組(前半は午後7時30分～8時45分、後半は10時から11時29分)に、20数名の討論者の一人として出演させて頂きました。

Q：なぜ林さんに出演依頼があったのですか。

A：2003年6月の憲法第9条と安全保障に関する参議院憲法調査会での私の公述人としての発言速記録を、番組担当ディレクターがお読みになったようです。7月中旬に、番組内容についての詳細なアンケート用紙が送付されてきました。私が1週間かけて書き上げた内容に基づき、1時間半以上にも及ぶかなり突っ込んだ内容のインタビューが行われた後、正式な出演依頼がありました。番

組出演までの1か月間、本や論文、新聞、雑誌を読み、また、人の話をお聞きし、憲法9条と安全保障について私なりに考えました。

**Q：番組ではどのような発言をしたのですか。**

A：(1)自衛隊をどうするかという議論のときに、私は、憲法を改正して自衛隊を日本の安全保障の担い手として正式に憲法に明記すべきであるとの意思表示をしました。

私は、1998年5月に弁護士の高井伸夫先生とともに、名古屋空港からのチャーター直行便で平壤(ピョンヤン)まで行き、北朝鮮を訪問。韓国との軍事境界線のある板門店(はんもんでん)で、何人かの将校から、「日本や韓国、アメリカは北朝鮮に数多くのミサイルを向けている。対抗上、我々はいつでもミサイルを発射する用意がある」旨の説明がありました。その年の8月31日に、テポドンが日本列島上空を通り太平洋に着弾。このとき、日本も本気で「抑止力」を考えねばならないと私は思いました。

(2)アメリカとの関係をどうするか議論のときに、私は、日米同盟はより強固にすべきだという立場を表明しました。

軍事費が毎年2桁増で軍事拡大が進んでいる中国の核兵器は未だに日本に向けられていますし、北朝鮮の最大の標的は日本であることが現実の姿である以上、日米同盟をより強固にして、自衛隊とともに「抑止力」を維持することが、日本の安全保障上大切と考えたからです。

日米同盟の強化に加えて、「NATO(北大西洋条約機構)」と人道支援活動などから協力関係を深めると同時に、「上海協力機構」とのパートナーシップも模索するなど、したたかで、戦略的な安全保障を日本も考える時期と確信します。

(3)世界における日本の役割として、一人ひとりの人間を「保護」し「能力強化」を目指す「人間の安全保障(ヒューマン・セキュリティ)」の促進を、番組の最後に訴えさせて頂きました。

\*この番組には、1回の発言は30秒以内、他の人の発言を遮ってはならないというルールがあり、私は守らせて頂きましたが、熱心な方が多く、司会者も困り果てる場面が何回かありました。

**Q：いろいろと考えた今年の8月15日でしたね。**

A：はい。東西冷戦が終了後も軍事的な緊張が弱まらないのが朝鮮半島や台湾海峡のある北東アジアですので、戦争のない平和な状況を維持するためには、平和を祈り、国際社会への貢献も果たしながら、「抑止力」を高めるために自衛隊を憲法上認め、また、日米同盟をより強めるべきだというのが私の結論です。

皆様はどうお考えになりますか。

**Q：学習塾、予備校、私立学校の経営者の皆様にお勧めしたい本があるそうですね。**

A：はい。大石学著「江戸の教育力ー近代日本の知的基盤ー」東京学芸大学出版会 2007年3月30日刊 1200円です。

「意外や意外、江戸時代は武士も農民も町人も、上下の別なく教育熱が高かった。武士の子弟が通う藩校は全国で300近く、庶民の手習所(寺子屋)はなんと7万とも。当時の外国人も驚いたその教育の広まりは、実は明治以降の急速な近代化を支えたものであった」このような内容です。ご一読あれ。

ー 2007年8月21日広島大学高等教育研究開発センターにて記すー